

※赤字は生徒の記入例

ワークシート1

第3部 1章 2節 ヨーロッパ封建社会の展開

この單元では、現代社会を生きる私たちが、この時代を生きる人たちから何を学び、これからの未来にどう生かすことができるのか？というテーマについて考えます。そしてこのテーマを考えるために、中世ヨーロッパの四つの立場(身分)に注目し、自分自身がどの身分でこの時代を生きればよりよい社会を築くことができるかを考えます。

(1) ヨーロッパ封建社会を学び、四つの身分がそれぞれ社会の中でどのような役割を担っており、何が起きたことで変化したかを分析する。

国王	<ul style="list-style-type: none"> <li>・王自身の一声で、国を動かしたり、社会を変革したりすることが可能な一方、権力が弱いと、人々が従ってくれない、他国による侵略を受けるなどのリスクがある。</li> <li>・生まれながらにして権力をもつことができるが、弱い国王は戦いに敗れ、国に大きな損害をもたらす場合がある。</li> <li>・国王の権力は絶対的でなく、貴族や教会との関係の中で調整を行う必要があった。</li> </ul>
教皇	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宗教的な指導者としてだけでなく、政治的リーダーとして重要な存在。</li> <li>・十字軍遠征を呼びかけるが、失敗によって権威が失墜した。</li> <li>・中世ヨーロッパはキリスト教を基盤として成立したため、絶対的な権威があった。</li> <li>・国王を破門するなど、教皇権が国王権を上回る時期があった。</li> </ul>
商人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融業を営み、教皇や国王に影響を与える人もいた。</li> <li>・第4回十字軍ではヴェネツィア商人が十字軍をそそのかし、ビザンツ帝国を攻撃した。</li> <li>・経済的に豊かで、活動範囲が広い。移動の際に命の危険が伴う。</li> <li>・収入は不安定で、仕入れのリスクも伴う。</li> </ul>
農民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荘園での貨幣経済の浸透で、自立する農民が現れた。</li> <li>・ペストの流行で人口が減少すると、労働力確保のため、農奴の地位が向上した。</li> <li>・もともと権力がないため、国王や教皇のように権力を失うことがない。</li> <li>・農民の反乱など集団での行動で影響力が大きい。自給自足ができるため生活が安定。</li> </ul>

(2) 自分がどの身分であれば、社会をよくするために生きることができるか。その理由も合わせて書いてみよう。

私は【 国王 】であれば、社会をよくするために生きることができます。

なぜなら 世襲で後継者を選ばず、優秀な人材を選ぶことで、よい社会をつくること

からです。

私は【 教皇 】であれば、社会をよくするために生きることができます。

- なぜなら ① 教皇は、キリスト教の教えを広め、道徳的な価値観を社会浸透させる役割を担っていたため社会の倫理観や行動規範を形成することができる
- ② 教皇は時に政治的な権威を持つことから国や地域間での争いを調停する役割を果たしてくれる

からです。

私は【 商人 】の立場なら社会をよくするために生きることができます。

- なぜなら 商人は他の地域(国)と物の売買をするとき、相手側の生活の仕方を偵察できるため、のちに商人の経験を活かして市政に強い影響力を及ぼすことができる

からです。

私は【 農民 】の立場なら社会をよくするために生きることができます。

- なぜなら 働くことが好きでわかりやすい役割をもてる

からです。

(3) (2)で書いた各自の意見をグループで共有し、考えをまとめてみよう。

グループ【 国王 】

- ・ 農民の支持を得るために、議会を開き意見を聞く。商人に対する税率をあげ、農民の税負担を軽減する。
- ・ 飢饉などが起きた時に農民が反発しないように、普段からある程度生活を保障する。
- ・ 商人から税を取るが、商人が仕入れなどで移動するときの安全を保障してあげる。

グループ【 教皇 】

- ・ 商人の活動を援助するかわりにキリスト教の布教をよびかける。
- ・ 十字軍の遠征を行わずに、各国の国王と協力してヨーロッパを発展させる。

グループ【 商人 】

- ・ 商売で得た利益で新薬の開発を行い、ペストの感染を防ぐ対策を行う。
- ・ 商売で得た利益で公共事業などをおこない社会貢献を行う。→商人としての信用度をさらに上げる。
- ・ 商売で得た利益で貧しい人々に配食を行う。
- ・ 荘園にいる農奴を開放して都市に移動してあげる。→労働力としてさらに商工業が発展する。
- ・ 仕入れたものが必ず売れるとは限らない。

グループ【 農民 】

- ・ 貨幣経済の浸透で、頑張ったら蓄財をして、自由農民になれる可能性がある。
- ・ 数が多いので農民一揆などにうってでる。
- ・ もともと権力がないので国王や教皇のように失うものがない。

(4) 他のグループ（身分）の発表を聞き、自分の身分から他の身分に求めることや改善策を述べよう。

(3)で農民だった場合→農民の立場から国王・教皇・商人に求めること。

【 国王 】へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員の立場を保障し、議会を開いてよりよい国にしてほしい。</li> <li>・商人に課税をする一方、商業活動を保障(補助)してほしい。</li> <li>・商人への課税を増やすと、物価が上がって生活が苦しくなりそうだからやめてほしい。</li> </ul>
【 教皇 】へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教皇の権威を、戦争をしない方向につかってほしい。</li> <li>・キリスト教が広がっていない地域にはグッズ展開をして布教につなげるとよい。</li> <li>・教皇が仕事をしすぎると国王の仕事がなくなるので何もしないでほしい。</li> <li>・すべての人が平等であるという思想を広げて、農民の地位向上に協力してほしい。</li> </ul>
【 商人 】へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商売で得た利益で学校をつくり、農民に教育の機会を与えてほしい。</li> <li>・商人は農奴を荘園から出してくれるとあったが、本当に自由になれるのか？</li> <li>・荘園にいる農民を開放するのはいいことだと思うが、いつか自分の儲けが少なくなると思う。</li> </ul>
【 農民 】へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何も考えずについてきてほしい。</li> <li>・新たな商品作物をつくって蓄えたお金でもっと自由になるとよい。</li> <li>・農民同士が結束して王より強い力をつける。</li> <li>・農民が反乱を起こすのは勝手だが、国内が混乱するから困る。</li> </ul>

## ワークシート 2

あなたは、単元の学習を通じて、この時代の人々から学んだことは何ですか。またそれを現代社会で生きていく上でどのように活用したいと思いましたか。80 字程度で自由に述べてください。


### 生徒の解答例 1

商人ギルドや同職ギルドをつくることによって、相互の利益を失わないようにすることは大事だと学んだ。現代でも激しい競争をしすぎると利益をどちらも失ってしまうので、ギルドに似たような同業組合をつくり管理していくことが必要だと思った。

### 生徒の解答例 2

今回の単元で国王や教皇の政策に不満を持った農民が一揆を起こすような場面がありました。国王達は農民や商人の意見を取り入れて話し合う必要性を学びました。現代を生きる私達が政策に直接関われるのは、選挙しかないので立候補者の掲げている政策を見極め投票すべきなのだとこの時代の政治を通して学ぶことができました。

### 生徒の解答例 3

ペストが大流行したり、地球の気温が極端に下がったりするなど 14 世紀の危機が起き、これは現代とすごく似ている。現代もコロナなどの流行や地球温暖化があり、この時代の反省からこの先どうしていったらよいかなどを学べた。